

あらと保育園「川柳」



- ほくの願いごと 高田翔人
「たんだくにやきゆうせんしゅでホームラン」
- クッキング 高橋玲弥
「ほうちょうでやさい切る手はネコみたい」
- きもだめし 大類望愛
「きもだめしこえはたしかにおじさんだ」



ありがとうございます

（ボランティア活動）

長井白鷹建設組合

8月28日、長井白鷹建設組合（飯澤義一組合長）による学校修繕のボランティア活動が行われました。

百葉箱の修繕、砂場枠の取替え、モップ掛けや柵の製作取付、黒板の仕切り板取替えなど、町内5つの小、中学校で12カ所の作業が行われました。同組合は大工さんなど20職種360人で構成されており、それぞれの技術を活かして子どもたちが安心して学校で



西中での作業の様子

学べるよう、施設修繕のボランティアを実施しており、今年で15年となりました。

実施された学校
（作業の内容）

- 鮎貝小学校
- ・ 百葉箱屋根の修繕
- 荒砥小学校
- ・ 砂場枠の撤去、新設
- ・ 昇降口傘立ての補修
- ・ 体育館入口扉の建付け補修
- 鷹山小学校
- ・ プールにビート板整理柵の設置
- ・ 外壁に時計を掛ける
- ・ 体育館更衣室扉の修繕
- 西中学校
- ・ 体育館前女子トイレの出入り口枠一部取替え
- ・ 音楽室上下黒板枠の仕切り板一部取替え
- ・ 体育館用具室にモップ掛け設置
- ・ トイレ扉調整
- 東中学校
- ・ 印刷室内の整理柵取付

町報川柳 「傷」

樋口 一杯 選

佳作	被災者の心の傷も支え合い 災害の傷を原発化膿させ 震災の心の治癒を祈ってる 傷跡を涙で流し夢を追う 原発の見えぬ恐怖に胸痛め 傷だらけの被災者には罪が無い 裏切られ心の傷は癒やさねぬ その言葉俺の心は傷ついた 傷ついた娘癒やせぬもどかしさ 傷ついた心受け止め母包む 傷口をいたわっている若い二人 古い傷温めあって生きてます 傷口をそっと包んで呉れた人 失恋の傷が人生狂い出し 傷ついた心につきい向かい風 傷物も安値で出せば売切れる 被災地の心の傷はいつ癒える 傷一つ秘めて故郷の風に乗る 一言が心の傷を解きほぐす 孫の笑顔心の傷も癒やされる 忘れたい忘れられない古い傷 自家野菜傷があってもうまい味 人の輪で心の傷も軽くなり 傷物も貧乏性で捨てられぬ 傷消しが百円ショップにもあるらしい	佐野原 荒砥乙 横田尻 荒砥乙 荒砥甲 高岡 十王 荒砥甲 世田谷 佐野原 高玉 高玉 浅立 貝生 山口 横須賀 世田谷 畔藤 荒砥甲 山口 西高玉 鮎貝 大瀬 山口 十王 高岡 畔藤 荒砥甲 鮎貝 天位	五十嵐とし 土谷 灯一 金田 れん 大滝 栄子 横山 陽子 須貝 仲次 鈴木 しげ 丸山 正志 糸 マサ 五十嵐あきよ 高橋 朝子 片山 時美 高橋 とみ 保科 努 渡部喜美子 大滝健次郎 遠藤 八重 堀内 芳夫 井澤美佐子 児玉 保子 金田 コト 横沢 直太 五十公野春巳 石川与次衛門 川部 隆雄 安部 柳子 菅原 敦子 鈴木美貴子 植木 英夫 海老名きち
軸	履歴書に少し隠れた傷があり	滝野 一杯	

次回「賞味期限」九月二十五日まで。「合掌」十月二十五日まで。
はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八―二 高橋 白兔 宛
【お願い】編集の都合により、各月二十五日が締切となります。